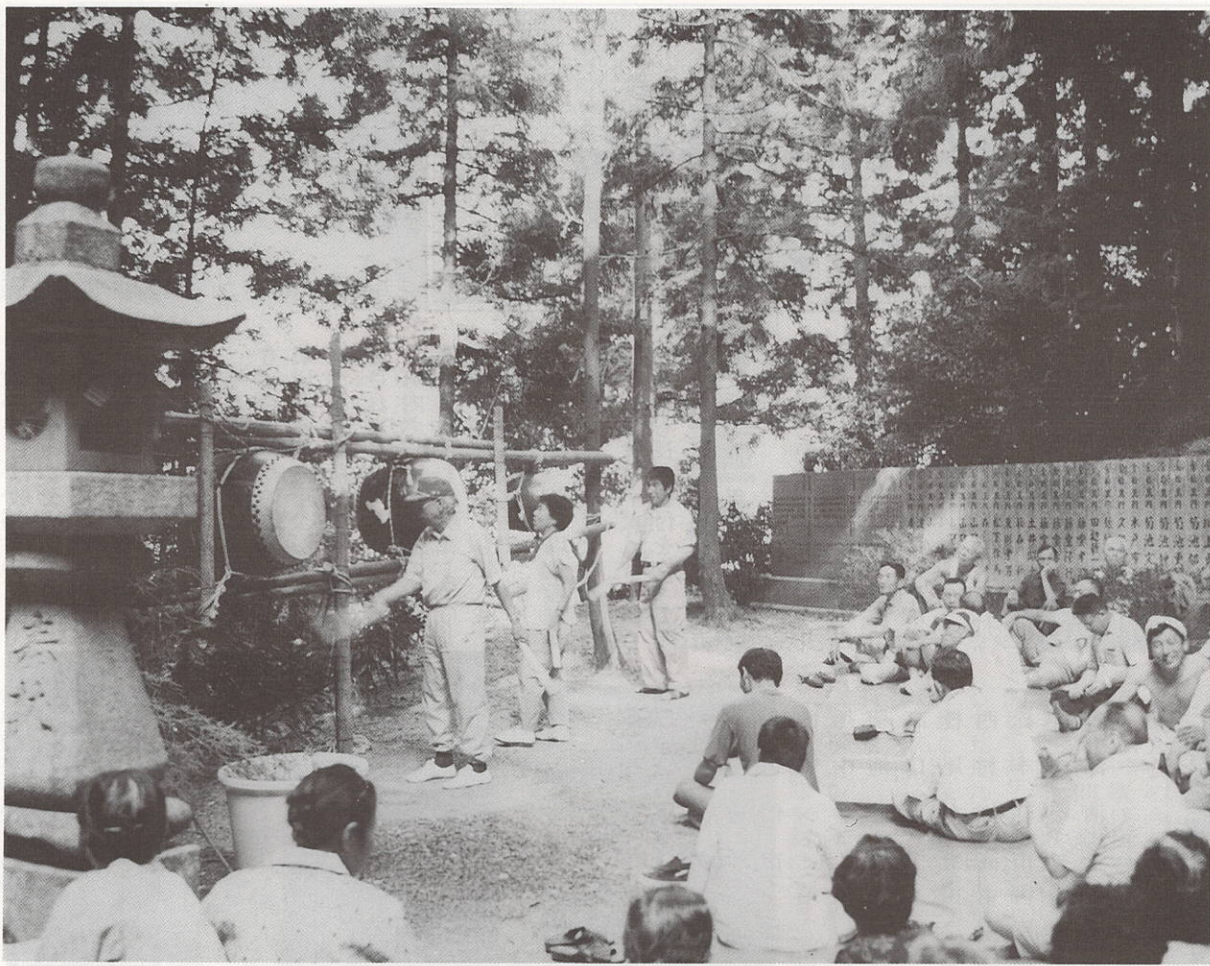


広報伊方町

発行所
伊方町
愛媛県西宇和郡伊方町湊浦
〒796-03 ☎(0894)38-0211
編集室
町長公室
印刷所
(株)豊豫社
八幡浜市松柏 ☎22-0144



9月4日河内地区の神社境内で「雨乞い」が行われました。

待てども待てども降らぬ雨に 河内地区で「雨乞い」

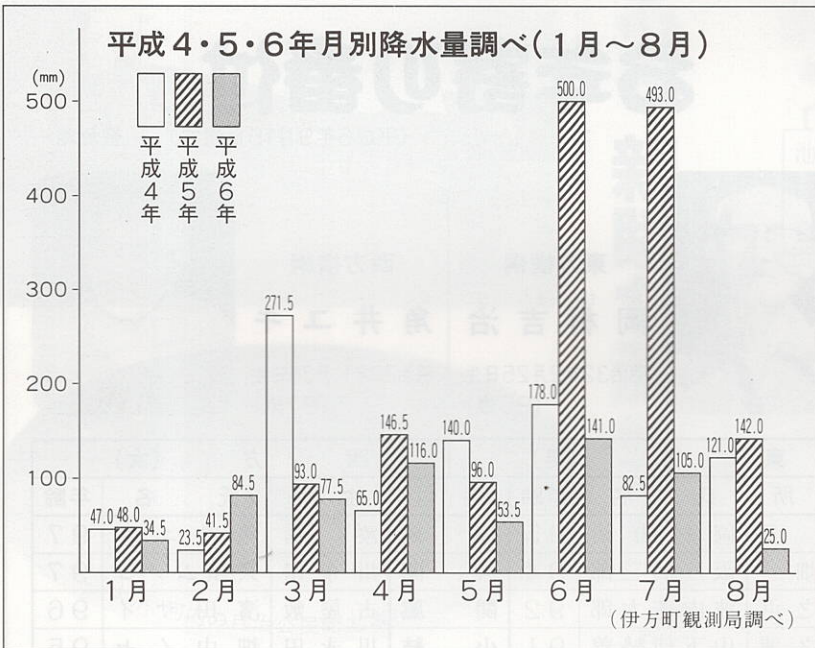
9月4日河内地区で「雨乞い」が行われました。そのかいあってか、6日に

降水量 昨年の約40% スプリンクラーかん水約15倍の水量に

過去3年間(平成4~6年)の1月から8月までの雨量を調べてみました。各年の1月から8月までの合計は、平成4年が920.5ミリ、同5年が1560.0ミリ、今年が637.7ミリで、やはり、今年が一番少なく、昨年の約40%、一昨年の約68%しか降っていません。

月別にグラフにして、比較してみますと、昨年は6月、7月に、一昨年は3月にまとまった雨量を記録していますが、今年も平均して、降っていないようです。

中でも、6月から8月の3ヶ月で、昨年は1135.0ミリの雨量を記録していますが、今年も271.1ミリで、昨年のわずか23%ほどです。この少雨に対抗して、威力を発揮しているのが、南予用水施設のスプリンクラーです。農家の皆さんの心強い味方となっています。



平成4年度以降の、南予用水施設によるかん水実績を調べてみました。平成4年度は14ブロックで

一日でも早く、まとまった雨が降るよう、待ち望まれました。平成5年度は、結構雨が降り出したので、17ブロックで1日ずつ、5550トンしか使用していませんが、今年度は、7月上旬からはほぼ毎日のように利用し、8万7304トンの水を使用しています。この量は、一昨年の約4倍、昨年の約15倍もの水量になります。



9月16日町長が各ブロックを訪問

人がいて

- 夢がわき
- 流れが変わり
- 新しい町が
- つくられる

今月の紙面

- 二面：敬老の日特集
- 三面：はかま満緒先生を迎え特別講演
94きなはい伊方まつりフォトコン審査結果
みんなの声・おたよりコーナー
- 四面：行政相談所の開設について
歳時記「下り築」



第15分団(久保・西)が 全国大会へ

県消防操法大会で優勝

町消防団第15分団(久保・西)が、8月28日松山市で開催された県消防操法大会小型ポンプの部で、見事優勝。10月13日横浜市戸塚区で開催される全国消防操法大会に出場することになりました。第15分団は八西大会では、惜しくも2位でしたが、県大会制覇に燃え、日々練習に練習を重ね、栄冠を勝ち取りました。

全国大会出場は、昭和63年以来2回目となります。

- 全国大会出場選手名
- 指揮者 上田 広幸
 - 1番員 林 栄作
 - 2番員 堀江 和久
 - (和泉健二)
 - 3番員 根来 六公
 - 補助員 井村 重也
 - (西内敏勝)

()は県大会
出場選手名
敬称略



故井上常久氏に 勲六等瑞宝章

去る7月17日に逝去された故井上常久氏(須賀)に、生前、地方自治に尽くされた功績に対し勲六等瑞宝章が下賜され、9月5日、県庁で伝達式が行われました。伝達式には、井上ハツミ夫人と長男の井上久志さんが出席され、伊賀知事から勲記と勲章が伝達されました。

伝達式終了後、町におきましても、町長室で受章記念品を贈呈いたしました。故井上氏は昭和22年から町見村議会議員を1期、昭和30年から合併後の伊方町議会議員を2期務められ、地方自治の伸展と地域の発展に貢献されました。また、町見農業協同組合理事などを務められ、地域農業の振興にも尽力されました。



9月13日敬老の集い(川永田保育所)

敬老の日特集

おじいちゃん・おばあちゃん
いつまでもお元気で!!



老若男女入り交じってナイターゲートボール(中浦)

米寿

今年、数えて88歳(明治40年生まれ)。米寿を迎えられた皆さん、おめでとございます。

- 山下庄松(大浜) 岡村ヒデコ(河内) 木戸キヌエ(河内) 松田イセ子(河内) 菊池キミエ(湊浦一) 由中モト(湊浦二) 河野森市(小中浦) 井上クマ(小中浦) 堀上熊蔵(中浦)

今年、数えて88歳(明治40年生まれ)。米寿を迎えられた皆さん、おめでとございます。

金婚式

昭和20年に結婚してから50年。今年、めでたく金婚式を迎えられた17組(昨年15組)の皆さん、おめでとございます。

- 兵頭熊一(中之浜) 中野長市(中之浜) 堀口勝久(中之浜) 中野アイコ(中之浜)

健康老人

町では、毎年、町の国民健康保険加入者で、1年間病院などで診療を受けず、当該年度までの国民健康保険税を完納するなど、健康増進に積極的に協力した70歳以上のお年寄りの方を「健康老人」として表彰しています。



三見小体育館

町では、毎年、町の国民健康保険加入者で、1年間病院などで診療を受けず、当該年度までの国民健康保険税を完納するなど、健康増進に積極的に協力した70歳以上のお年寄りの方を「健康老人」として表彰しています。

お年寄り番付

(平成6年9月15日現在) 敬称略



東方横綱 岡村吉治 明治32年2月25日生 (95歳)



西方横綱 角井ユキ 明治29年11月24日生 (97歳)

Table with 7 columns: 住所, 氏名, 年齢, 番付, 住所, 氏名, 年齢. Lists names and ages of elderly residents categorized by region (Eastern and Western).

- (仁田之浜) 井村イサミ・井村キミコ・畑中彌三長 (河内) 上野ミツヲ・上田多丸・渡辺シゲコ・渡辺正光 谷内岩茂 (湊浦一) 米田ツルエ・佐々木竜吉・山本兼弘・藤堂ノブ・松田稔・藤堂敏盛・政木龍義 (湊浦二) 由中モト (中浦) 西川惣五郎



大浜集会所

- (川永田一) 畑中イセ・阿部ヤスノ・福田ハツ・菊池家光・菊池茂・梶谷サカエ・稲月三郎・竹嶋始・清水コメ・竹嶋トキコ・西平寿衛・清水岩左・宮脇宮茂・篠沢国照・宮脇勝 (豊之浦) 井上イワ子・岡崎タミコ・岡崎重信・渡辺ミサコ・中田磯太・福島マサコ・高石金蔵

- (伊方越) 木下貞信・崎須家カメ子 (龜浦) 阿部定員・向井マツエ・窪田俊子・阿部久 (奥) 渡辺コトエ・池田傳義・水上正雄 (畑) 廣野房一・坪内玄良・坪内サワエ・廣野イチヨ・田村ナカエ・河崎カネ子 (須賀) 岡村吉治・徳内千歳・岡村音代・宇都宮ヒサノ (久保) 林キヨミ・菊池武徳・久保興十一 (西) 徳田三吉・西山キヌエ (二見) 山田マスエ・道上トクエ (加周) 岡西秀敷・古田ミツマ (田之浦) 山岡タキノ・北野カネヨ・山下春義・志賀幸雄・玉井強 (鳥屋敷) 西村ユサヲ (鳥津) 鳥津清士・鳥津保・竹上ミチ子・道元豊・道元ウメ子・竹上六郎



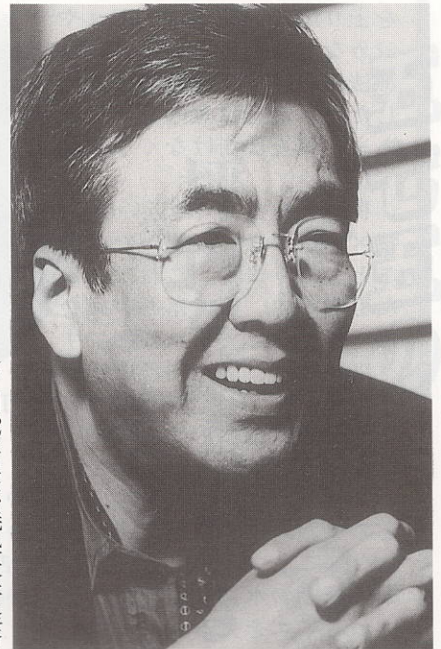
向公民館



仁田之浜集会所

健康と福祉のつどい'94

タレント・コント作家のはかま満緒先生を迎え 特別講演「笑う門には健康来る」



●日時
平成6年10月23日(日)
13時30分～15時

●場所
町民会館4F大ホール
(入場無料)

講師プロフィール
●人物・特徴
放送作家・司会者・俳優など八面六臂の活躍で知られる異色タレント。
●生年・学歴
昭和12年9月13日東京生まれ

●職歴・経歴
慶応を中退後、東京放送入社。34年同社を依願退職し、放送作家となる。シャボン玉ホリデー、故林家三平のコントなどを数多く書き、バラエティ界の内外で、大きな話題を呼ぶ。併せて脚本・俳優・車だん吉など数多くのコメディアンを育てる。

●著書
「オトナの歌集」「誰も書かなかった裕次郎」「人生万能薬」など。

●指導テーマ
「チャップリンの笑い」「ソフト買うべし」「ジョークは冗句にあらず」「職場や商売に役立つジョーク・ユーモア・洒落」「高齢化社会の楽しい生活の過ごし方」「ソフト時代のユーモア精神」などテーマは多種多彩。功みな話術とユーモアで会場全体を引き込み各地で好評。

きなはいや大賞

2年連続で松村さん(八幡浜市)

94きなはいや伊方まつりフォトコンテスト

9月12日(月)94きなはいや伊方まつりフォトコンテスト審査会が開かれ、応募のあった49点の写真の中から次のとおり決定しました。

☆94きなはいや大賞

「よさこい踊り」

松村吉三郎 (八幡浜市)

☆伊方まつり大賞

「大きいのこわい」

松本章一 (宇和町)

☆たのしいで賞

「助けて セーラームーン」

吉田 穂英 (宇和町)

「お母さん奮闘」

乗松 賢二 (松山市)

「よさこい踊り競演」

松村 秋廣 (八幡浜市)

「楽しい一時」

米田 吉雄 (八幡浜市)

「暑さ忘れて大声援」

矢野佐一郎 (中浦)

☆イベント賞

吉田 穂英(宇和町)

乗松 賢二(松山市)

松村 秋廣 (八幡浜市)

山田 安利 (八幡浜市)

米田 吉雄2点(八幡浜市)

矢野佐一郎4点(中浦)

松村吉三郎2点(八幡浜市)

木綱 武雄 (八幡浜市)

松本章一4点(宇和町)

奥田總一郎3点(中浦)

☆特別賞

「モデルになったで賞」

畑中 花子 (仁田之浜)

木戸 梅香 (河内)

敬称略



'94きなはいや大賞

調整池 水湛えて農栄え

みんなの声

おたよりコーナー

「日照り続きで埃が立つ」と昔から言われていたが、今年には特別である。昭和63年3月竣工した川永田の調整池。これに併用して昭和58年から始まった畑かん事業を合わせて、地区のまとめ役の責任を担った。畑かん事業も順調に進み、伊方地区は後

一部で完成となる。昭和42年の干魘を体験せられた農家の皆さんであるが、今年には昭和42年の様な枯死の心配はいらない。

有難い事には、野村町のご理解と畑かん事業のおかげで、川永田の調整池も毎日満水あ

ふれる状態である。町民は水の心配なく、不自由なく南予海岸の5670ヘクタールの柑橘園の水と、人口17万人対象の水を供給が出来る、本当に有難い。枯死する柑橘も芽を出し、「人」も「みかん」も今のところ安心して

いる。南予用水と畑かん事業のおかげによるものと思う。工事の始めに私はこう言った。「皆さん、水が出したら生活状態が変わってきますよ。それは、①労働の省力化と②保健衛生③家庭設計の立直しをしなさいよ」と言った事がある。

我々の生活を支えてくれるのは柑橘で、すべて「みかん」のおかげである。今年には猛暑の中で、充分なかん水をしてもらっているので「みかん」の木も喜んでいることと思う。

実はA氏は「畑かんに加入して良かった。金の事はかり思い、即答しなかったが、あなたが勧めてくれて、加入して良かった。あん

たが今までの様で、加入してないとい、嫁のきてもない、と言われたのを思い出す。また、「今年一年で元取った」とお礼の電話もあり、出会った時には、事業の有難さを話してくれ

る方々も増えてきた。今年の水こそ、「一滴千金」である。松山方面は毎日の断水で、お気毒

でならぬ。調整池の水を送れるものなら送ってあげたい、と思う気持ちで一杯である。

残暑ことの外厳しき折柄、広報のためいつも変わらぬご努力をいただき、新しい町の発展を拝見しながら感謝しております。

国を挙げて最近益々、ゴミの問題がやかましくなりました。私どもの地区でも毎月の不燃物収集には、あまりにも乱雑、無秩序で目を覆いたいことの連続です。

そこで、指示を受けるだけでなく、出す側から見たその様子を言葉を変えて訴えてみたらいかげなものかと、一老婦として考えた提言です。

ご一考くださって、ご期待に添えましたら起用してください。

まず、ゴミ出しは主婦の全責任であること。主婦の威信にかけても決まった日に出すよう、ぜひとも努力すること。不燃物はゴミに出すとは言え、各家庭では愛用した形身の品であり、それを一週間も十日も人目にさらすことは、誠に残念至極と品物も嘆きます。

どんな家でも、後十日ばかりの始末の出来ないことはないと思えます。

自分たちの生活を守る環境、約束事は良心に添って、ぜひ、慣行し、住みよい伊方町に向上してゆくよう励んで行きま

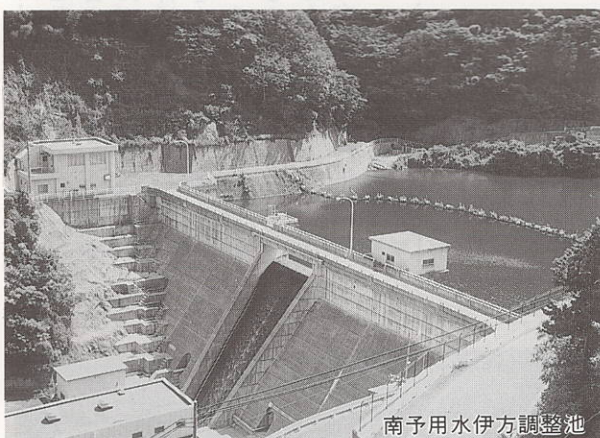
しょう。

なお、役場に対してのお願いですが、立派な放送施設が整っていること故、それを利用して、不燃物を出す前日の昼と夕方、当日の朝と3回放送すれば、読んだだけでなく、耳に新しく入ってくることは新鮮なこともあり、大きな効果が表れることと期待いたします。

また、収集日の分別制3度を確実にに行えば、順次実績も上がることを確信しています。

あらゆる方法を講じて、一歩でも前進したいものです。よろしくご配慮の上、善処をお願い申し上げます。

8月26日 田之浦の一老婦



南予用水伊方調整池



奥地区のゴミ収集場

歳時記

下り築

行く秋の 所々や 下り築 蕪村
紅葉から まずかかりけり 下り築 一茶
築は古くからある漁法の一つで、川の流
れに竹簀などを仕掛けて魚をとる方法です。川
を下る魚をとるのを下り築、上る魚をとるの
を上り築といいます。アユやマス、フナやカ
ジカなどをとるときに、使われることが多い
漁法です。昔は全国各地の川でよく見かけま
したが、最近では魚の資源保護などを理由に、
あまり築を仕掛けなくなっているようです。

秋になると、川に近い街道などに、「○○名
物××築」などと書いたのぼり旗を見かける
ことがあります。これは、観光用につくられ
たものです。築で落ちアユなどをとり、その
場で料理をしてくれるのです。

塩焼きは、アユ料理の定番といえます。築
でとれたアユは「金ぐしのうねり打ち」とい
って、尾がはねる形にくしを打ち、ひれに化粧
塩をした塩焼きをタデ酢で食べます。焼いて
みそをぬった魚田(魚の田楽)や、フライな
どのアユ料理も格別です。河原のアカシヤの
林などにしつらえた小屋で料理に舌鼓を打ち、
築の簀簾の水音を聞きながら、時折、水面を
はねるアユを見るのは風情がありますね。

さて、10月は「食
生活改善普及運動
月間」です。毎日の食
事の栄養バランスが
悪いと、成人病を引
き起こす要因とな
ります。毎日の食
生活を見直し、偏
った食事をしてい
ないか、チェック
てみましょう。



子供相撲大会
団体優勝 豊之浦小チーム



アイラブゆづらん
海老いし



10月は「犬の危害防止対策
推進月間」です。この月間行
事の一環として、飼い犬によ
る事故を防止するため、「犬は
放さない、犬は捨てない、犬
による他人に迷惑をかけるな
い」という3つの約束を守りま
しょう。

先月号1面で掲載しました
町消防操法大会の記事の中で、
第5分団4年連続優勝を「5
年連続」に、2面左下に掲載
しました子供相撲大会の優勝
チームを左の写真に、4面人
の動きで掲載しました濱本清
市さんの二男浩平君を「長男」
に、それぞれ、訂正させていた
だきます。
紙上から深くおわびいたし
ます。

お気軽に相談ください
役場に対する苦情や要望

10月19日 行政相談所を開設

総務庁では、行政相談制度
を広く国民に知ってもらう
その利用を促進するため、本
年は10月16日(日)から22日(土)
までの一週間を「行政相談週
間」と定め、全国的に各種の
行事を実施することとしてい
ます。

この週間行事の一環として、
当町でも総務庁長官から委嘱
された行政相談委員が、次の
とおり行政相談所を開設いた
します。この機会にお気
軽にご相談ください。

行政相談員は、皆さんから
の苦情や要望などを第三者的
立場にたつて、問題解決す
ることを仕事にしています。
相談は無料で、秘密は固く
守られます。

なお、当日、心配ごと相談
所もあわせて開設しますので、
ご利用ください。

「飼い犬の三ない運動」を
守りましょう!

をスローガンに、飼い犬の三
ない運動を推進いたします。
犬を飼っておられます方は、
この三ない運動を十分守って、
他人に迷惑のかからないよう
努めてください。

また、この推進月間中、次
の日程で、本年2回目の巡回
による畜犬登録及び狂犬病予
防注射を実施いたします。1
回目(5月実施)を受けてな
い犬や、5月以降に生後3ヶ
月以上になった犬が対象です
ので必ず受けてください。
●畜犬登録・狂犬病予防注射
・平成6年10月12日(水)

町内の交通事故

(9月1日現在)

発生件数	50件
(8月)	9件
負傷者数	22人
(8月)	8人

ここ数年、お年寄りの死亡事
故が目立って増えています。年
をとれば、だれでも運動能力や
反射神経が衰えます。しかし、
それを自覚しない方も多いよう
です。そのため、つい無理な飛
び出しや横断をして事故に遭う
のではないのでしょうか。慌て
ないで交通安全に努めましょう。
伊方・町見駐在所

人の動き

平成6年8月1日現在
世帯数2,591世帯(7世帯)

人口	7,603人	{男3,683人(-10人)}
		{女3,920人(-11人)}

※広報に載せて欲しくな
い人は、事前にお知ら
せください。

お誕生おめでとう
よい子に
育ってください
平成6年7月1日
7月31日
保護者 続柄 児名

えんむすび
平成6年7月1日
7月31日
氏名 本籍地

☆とき
平成6年10月19日(水)
午後7時開演

☆ところ
瀬戸町総合体育館

☆入場料
一般 3000円
(前売2500円)
小中学生1500円
(前売1000円)

☆入場券販売及び
問い合わせ先
瀬戸町連合青年団
(瀬戸町役場
総務課内)

☆内容等
3つの結婚をめぐる
トラブルを軸にして、
村に生きる若者たち、
大人たちの思惑、男
と女の結婚観の違い
を、そして農業の未
来を、笑いと涙、歌
と踊りをてんこ盛り
にして描く2時間の
エンターテインメン
ト。6人の俳優で、
総計20余名の登場人
物を演じ分けるのも
見どころのひとつ。

日青協ミュージカル
「ウエディングベルがききたくて」
瀬戸町で開催

最低賃金改定
旧4,386円1時間550円
10月1日から適用

平成6年10月1日から県内すべての労
働者に適用される愛媛県(地域別)最
低賃金が改定されました。県内の使
用者は、労働者に対しこの最低賃金
額以上の賃金を支払わねばなりません
ので、ご注意ください。
最低賃金についてのご相談、お問い
合わせは、八幡浜労働基準監督署
(☎0894-22-1750)または、愛媛労働
基準局賃金課(☎0899-25-2101)まで。



よりよい社会を願って

- 明るいあいさつをしよう
- 時間を守ろう
- 町を美しくしよう



教育だより

〔発行〕
伊方町教育委員会
〔編集〕
社会教育課
〔印刷〕
豊 豫 社



坪内先生の句評を熱心に聞き入る参加者

五七五の

小さな詩を楽しむ

坪内先生を招き

ふるさとで講演会

秋の俳句研究大会開かれる



俳句に対する理解と認識の輪を広げようと、九月十七日「秋の俳句研究大会」（主催伊方町俳句連合委員会）が中央公民館で開催された。

この研究大会は、町内出身で学者として、また、俳人として活躍されている坪内稔典先生を招き、俳句愛好者、一般聴講者など合わせて一五〇余名が出席して行われた。

開会行事が終ると、さっそく、句会形式による学習会に入り、事前に投句された八十八句の中より、互選が行われ入賞句選者の選評の発表や相互の意見交換が行われた。そして、坪内先生も投句集の中より、数句を選び句評された。

句会に続き、「伊方の言葉、日本の言葉」と題して、坪内先生の講演が行われました。「小学生の時、先生の日記のやりとりから表現力が豊かになった」と子供時代の話から始まり、「俳句の五七五の表現は、普段使う言葉とちがうので、物を見る感覚を少し変え、言葉をもっと取り合わせれば良い。」ゲサクの方言は、江戸時代に小説「ゲサク」と言われ、当時は和歌などと比べた場合、たいした事がないと言う意味です。都の遠隔地で古い言葉が残っている。など生活と言葉のつながりについて話され、最後には、「めんどしい話ですみませんでした。」と方言で締めくくりました。

参加者は、先生のユーモアたっぷりの講話に、明日からの俳句に対する学習意欲を沸かしていただきました。

坪内 稔典
昭和十九年生
伊方町 畑 出身
立命館大学、大学院修士課程修了。
現在、京都教育大学教授
俳人。専攻は国文学。
句集に「落花落日」「百年の家」、評論誌に「正岡子規」、俳誌「船団」が代表。

差別のない職場、地域づくりを目指して
郵便局で企業同和教育研修会開く

九月十六日、明るい社会づくりと、差別のない職場づくりを、企業同和教育研修会（主催伊方、町見郵便局）が伊方郵便局で開催された。

この日は、仕事を終えた午後六時から行われ、両局より十九名が出席。開会行事が終るとさっそく、「まごころの川」の映画視聴を行い、この映画のねらいとしている、学校、家庭、社会、そして、企業同和教育の重要性について再確認された。

続く、意見交換では、「偏見や先入観で人を見ない。」「お互いの交流の場が必要。」「相手の立場になって考えることが大切である。」など活発な意見が交された。最後に上向局長が、「私達の局は、地域に貢献を目標に掲げている。一日でも早く、この同和教育の解消に向けて、どの職場にも負けない、地域のリーダーであれ。」と閉会あいさつで研修を終えた。



自らを高め、人と人を結ぶ生涯学習

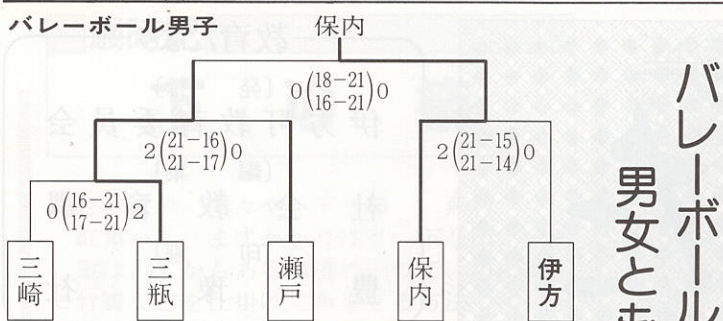
- 自ら学習し生きがいを求める 一人一学習
- 心のふれあいを育成する 一人一活動
- 健康や体力の増進を図る 一人一スポーツ

《伊方町生涯学習推進目標》

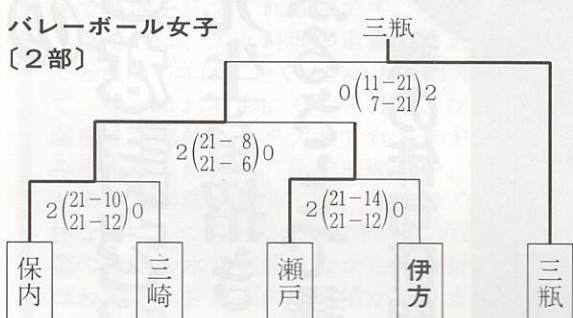
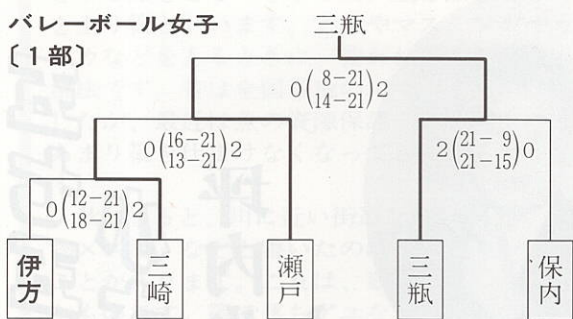
第2日曜日は「家庭の日」です

10月のテーマ “読書に親しもう”

〔実践方法〕 ○ 家族みんなで読書を楽しみ、その感想を話しあったり、本の読み方や選び方等について話し合おう。



バレーボール
男女ともに善戦及ばず



郡内のスポーツの祭典に 力と技を競う
交流を深め合う
愛媛スポレク祭'94地方大会郡予選



力強く入場行進をする伊方町選手団

スポーツを普及し、健康と体力の向上をはかろうと、九月四日、三瓶中学校を主会場に、愛媛スポレク祭'94地方大会郡予選が行われ、本町からも九種目に九〇名の選手が出場し、日頃鍛えた体力と技を發揮しました。そして、卓球の女子が優勝、男子が準優勝と素晴らしい成績を収め、来る十月二日の管内大会の出場権を得ました。

向地区高齢者講座
手芸のつどい

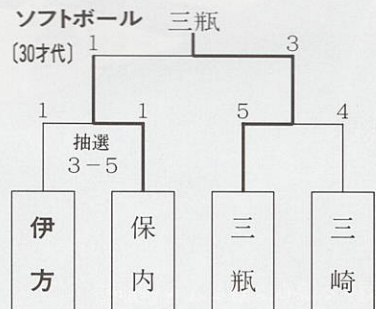
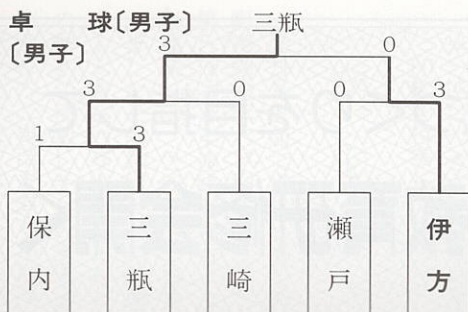


平成4年9月にスタートしたこの講座は、文部省委嘱による集会所指導事業の一環として向老人クラブ婦人部有志を対象に月一回開催している。畑の田丸尚子先生を専任講師に身近な素材を使い、短時間で完成できる物を作っている。「気軽につどい、お互いに自然感覚で対話しながら創作の喜びと集まる楽しさを味わい、あたたかい地域づくりをめざす」を基本的な柱として活動を展開し、学習の成果として地区のふるさとまつりや文化祭等に展示している。会員は少ないが人間関係を大切に息の長い講座にしていきたい。

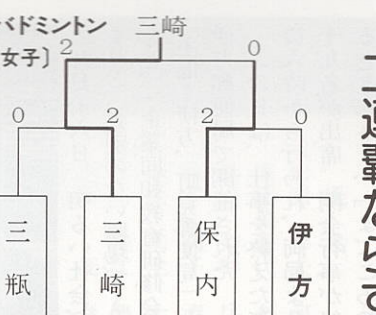
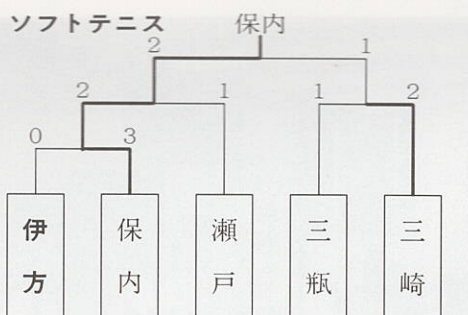
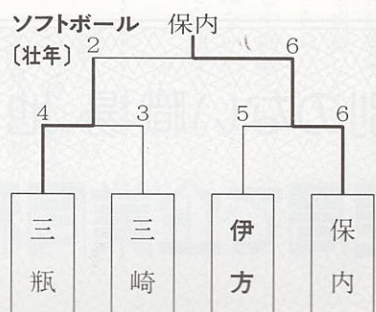
卓球女子
3年ぶり2度目の優勝
男子は惜しくも準優勝

卓球[女子]

三瓶 1-3 伊方



ソフトボール
30才代は抽選
壮年は一点差で惜敗



ソフトテニス
バドミントン女子
一連覇ならず

お知らせ

幻の美術館
白樺コレクション
ヨーロッパ・日本近代名作展

○場所 八幡浜市民図書館 3F 市民ギャラリー

○期間 平成6年9月23日(金) ~10月23日(日)
(会期中は、休まず開館)

○開館時間 午前10時~午後6時

○観覧料 一般 1,200円 (前売1,000円)
高校生 500円
小・中学生 300円

○主な画家 ルオー・ロダン・セザンヌ・コトリロ・ピカソ・モネ・ルノワール・ローランサン・ゴッホ・高村光太郎・梅原龍三郎・武者小路実篤 など

10月29日	10月22日	10月15日	10月8日	10月1日	放送日
11月1日	10月25日	10月18日	10月11日	10月4日	再放送日
字がよめるよ — 幼児の 文字環境 —	楽しさいっぱい — 友達との かわり —	ぼく、いやだ — 自我の芽ばえ — (再放送)	お父さんの出番 — 父親の 育児参加 —	赤ちゃんがえり — 兄弟関係 —	テーマ
4~5歳になると、文字 や数量への興味・関心をつ のらせる変化は驚くべくも のがあります。就学前の教 育について考えます。 (幼児期)	保育所や幼稚園での保育 では友達との関わりを重視 するところに大きな意味が あります。幼稚園・保育所 における友達との関わり方 について考えます。 (乳幼児期全般)	反抗期の行動と子供の成 長について考え、この時期 に親がどのようにして関わ ればよいか考えます。 (乳幼児期全般)	両親が協力しあい、ささ えあう中で子供の心は育つ ものです。父親の育児参加 について考えます。 (幼児期)	兄弟の誕生と幼児の心理 を汲み取り、望ましい兄弟 関係や、情緒の安定した子 育てと親の関わり方につ いて考えます。 (幼児期)	ねらい
提供 放送	愛媛県教育委員会 南海放送				

テレビで学ぶ家庭教育
「すこやかえひめっ子」放送スケジュール

○放送 土曜日朝 七:00~七:十五
○再放送 火曜日朝 十一:00~十一:十五

結核予防学習会

郡内婦人130名集う 運動会に 郡婦人大会

九月十二日、明るく住み良
い、潤いのあるふるさとづく
りのために、健康学習と親睦
の和を広げようと、「西宇和郡
婦人大会」が町見公民館で開
催された。

大会には、郡内の婦人会員
百三十余名が参加、今回は、
「結核予防婦人の集い」を兼
ねて、講師に八幡浜中央保健
所長の竹之内直人先生を招き
「結核と婦人の疾病について」
と題して講演が行われた。

先生は、「高齢化率の高い町
ほど患者が多く、そして、体
力が落ちた時に病気になるか
りやすい。予防は、検診が一番
である。伊方町は郡内でも、
受診率が高く、特に女性が多
く受診している」と結核の現
状と予防について話された。



平成6年度 西宇和郡婦人大会
結核予防婦人のつどい

お国だより 直通便

産土(うぶすな)の神に 雨乞い神事

伊方町の河内地区で、九月
四日(日)四年ぶりに雨乞い
踊りが行われた。

地区住民百三十人ほどが源
平ゆかりの地でもある「八坂
神社」に集まって、朝五時半
から日照り続きで降雨を祈願
した。神社に参拝の後、境内
に吊るされた大太鼓(三個)
にそれぞれ打ち手が向かい、
太鼓を叩きながら身ぶり手ぶ
りよろしく雨乞い踊りが始ま
った。また、境内の中ほどは
炎が天にもとどけよと、バチ
バチ音をたてて薪を燃やし続
けた。昔の雨乞い神事は、蓑
笠をつけて踊ったそうだが今

では普段の服装で行っている。
太鼓の打ち手は、赤鉢巻をき
りりと締めて三人が踊りな
がら太鼓を打つ。
観衆はそのリズムに合わせて
「雨ターモレ、ギオンドー
ギオンドーガ、ヤケルゾー」
と交互にはやしたり、太鼓の
打ち手と観衆が交互に唄は
やし続けるのである。
「雨ターモレ、ギオンドー、
蜜柑ノ木ガ、枯レルゾー」と
逸る気持ちにかられた。
太鼓の打ち手も老若男女が
交代に打ち続けられた。
竹笹を水に浸しては、時々
太鼓の打ち手や観衆のまわり

おじいちゃん おばあちゃん こんにちは!

～町見婦人会あけぼの荘慰問～

「社会福祉活動の推進、町
見婦人会の今年度の活動の柱
である。既に現在、独居老人
の定期訪問、寝たきり老人介
護者慰問等、地道な活動を展
開しており、今回はその一環と
して九月九日、町見婦人会役
員さんが保内町養護老人ホー
ム「あけぼの荘」の慰問を
行った。
おじいちゃんおばあちゃん
の熱い歓迎の前に一同緊張さ



舞台衣装もよく似合う町見婦人一団



を「雨よ降れ、雨よ降れ」と
呼びかけながら走り回る様は
天の岩戸神楽を思わせ、観衆
を神々の世界へと誘った。
雨乞い神事の終わりは、唄を
唱えながら全員で神社の拝殿
を三回まわり、午後三時に雨
乞い神事を盛会に終わった。

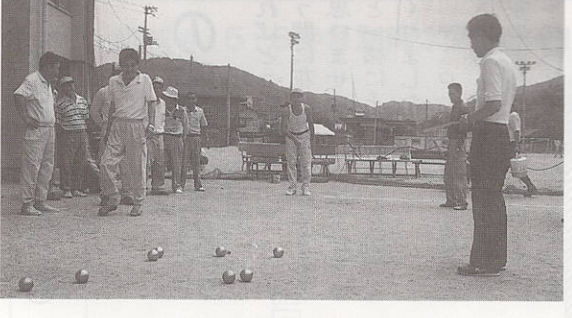
壮年会

スポーツで親睦を深める

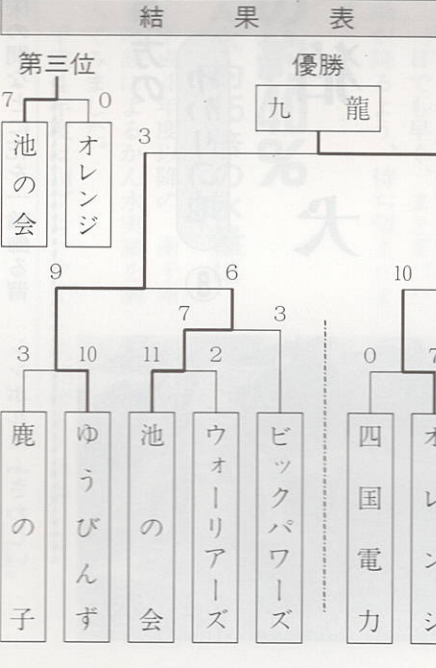
伊方壮年会
[伊方壮年会
めていました]

九月十一日には、伊方壮年
会(会長 松田忠一)主催に
よる、「親善ソフトボール・ペ
タンク大会」が伊方中学校グ
ランドで開催された。

この日は、会員五〇名が参
加し、最初に二チームに分か
れてソフトボールが行われ、
珍プレーや好プレーの続出し
両ベンチを沸かしていました。
続く、ペタンクでは、十二
チームによるトーナメント方
式を用い、一回接から熱戦が
繰り広げられ、一投ごとに逆
転が演じられると、歓喜やた
め息が出るなど、スポーツを
とおして会員相互の親睦を深



大浜、河内の自治公民館主事も大活躍!



優勝で喜ぶ九龍の選手

伊方町長杯争奪 ソフトボール大会 九龍2連覇 準優勝ゆうびんず

俳句くらぶ

- 花ごぼし空に遊べる葛かずら
- 亡き父の想ひ出手繰る盆の月
- 晩夏光背に岬に消ゆフェリーかな
- 網戸寝の月の明りや晩早し
- 沖遠く純友の鳥秋の蟬
- 漁舟波真砂を鳴らす秋の暮
- 浜風や汐木の火の粉芋煮会
- はるかにて灯台灯る七日月
- いま倅せ辣蕪二畝花つけて
- 先になり後になりして秋の蝶
- 台風雨の雨のぞみを託すのみ
- 山の端に束の間の虹かかりけり
- 暮れなずむ燈台指呼に竿句会
- 秋日落つ釣人ついに点となる
- 枝先を返すす尺取り尺取って
- 芋炊や汐木の燠の浜明り
- この暑さ「所により」に期待かけ
- 水洩陽のおどる清水を掬ひけり
- 浦渡る風清々し今朝の秋
- メロディーを変えて法師の鳴き交す

短歌くらぶ

- 墓場につづく岡の広場に友を恋ふ
- 戦きに来てしあの顔この歌
- 朝まだき初秋の庭に虫鳴きて
- 中天高き半月仰ぐ
- 吾が町は水に恵まれ洗濯物の
- 白のシャツが風に吹かるる
- つくつくのやや衰へし窓にたてば
- ゆく雲風の香まぎれなく秋
- ダチュラーの花の香しるく句へども
- 吹く北の風攫ひてゆけり
- 通り雨空仰ぎつつ手に受けて
- 朝施せし芋肥を思ふ
- 作祈禱のおこもりにて打つ太鼓の音
- 朝の大きをふるはせ響く
- 石槌に登る葦足怒りあて
- 山降りる時膝笑ひけり

川崎やす子
岩井ふみえ
岩見あい子
志賀ともえ
樫尾久恵
古田かず多
古田しを
小島ささえ
古田かず子
二宮あきえ
松田紋司朗
有徳憲市
城岡さかえ
山口あさ子
渡辺なみえ
菊池あつ子
大沢てる子
林そで子
山田やよい
山田みえ子

宇都宮すみ
岡山綱子
菊池朱見子
梶谷千代子
田中朝子
是沢美那恵
武田峰生子
梶田ミヨ子

同和教育シリーズ 69

差別のない社会
まず「知る」ことから

伊方町では、ただいま八月二日(火)中浦地区を初日に、各地区で地区別同和教育懇談会が順次開催されています。意見交換の中でよく出る言葉に、「今でも差別はあるのですか。もう、なくなっているのではありませんか。」ということ。さて、心理テストです。あなたは素敵な異性と出会い、幸せな結婚をしました。一男一女に恵まれ、幸せな家庭を築きました。

息子は結婚、やがて娘も恋に落ち、あなたに打ち明けました。「私の結婚したい人は身体障害者です。」と、さあ、あなたはどうしますか。①祝福する。②少し抵抗がある。③許さない。答は

「花いっぱい運動に役立てて下さい。」先日、伊方小学校の三年生が先生と一緒に公民館へ自分達がつくったひまわりのお話を届けてくれました。お互いに花のたねを交換し合う。町全体にこの活動が広が



「花いっぱい運動に役立てて下さい。」先日、伊方小学校の三年生が先生と一緒に公民館へ自分達がつくったひまわりのお話を届けてくれました。お互いに花のたねを交換し合う。町全体にこの活動が広が

生涯学習であすを拓く 23

花づくりと
おもてなしの町づくり

「花いっぱい運動に役立てて下さい。」先日、伊方小学校の三年生が先生と一緒に公民館へ自分達がつくったひまわりのお話を届けてくれました。お互いに花のたねを交換し合う。町全体にこの活動が広が

ればどうでしょう。アツという間に花一杯の町ができると思いませんか。小学生がタネと一緒にそのヒントを届けてくれました。

慣があります。世界中、花でもてなす心は皆一緒だと思います。まさに人々のつき合いやひいては国際交流など、原点はもてなしの心ではないでしょうか。もてなし上手な花いっぱい町に多くの人が訪れます。

ヨロッパでは町を訪れた人に対し、もてなしの意味で家のまわりの生け垣や窓辺にきれいな花を咲かせます。冬の間は家の中で育て、春暖かくなると戸外に出す。ペゴニアなど育てる人の気持ちにこたえて大きな株になり、何年も見事な花を咲かせます。日本でもお客をもてなす床の間などに花を一輪飾る習

湊浦ペタンククラブ

住友生命健康財団賞を受賞



受賞を喜ぶ兵頭さん

湊浦のペタンククラブが愛媛県スポーツ振興事業団の推薦により、去る九月十四日松山市住友生命支社で「住友生命健康財団賞」を受賞し、十万円相当の健康器具の贈呈を受けました。

と体力づくりに地道な実践活動を続けていると認められたものです。おめでとうございませう。全国で一四七サークルが受賞しました。愛媛県では湊浦のペタンククラブと野村町のバレーボールクラブの二サー

クルだけです。県下には数えきれないほどの多くのサークルがあります。大変、名誉ある受賞です。湊浦ペタンククラブの代表

兵頭勇八さんは「健康第一そして楽しくをモットーにして和気あいあいの活動を続けてきただけに、このような名誉ある受賞に預り、恐縮しています。今後も健康には充分留意し、生き甲斐にも通じる和やかな活動として続けていきたいものです」と話しておられます。

これを契機にして、今後も益々の価値ある活動を期待致します。町内には他に多くのサークルが活発な活動を続けています。益々の発展を期待します。

伊方の
ゆるりの地 8

狛犬

神社といえは鳥居と狛犬を思う人は多い。いま一つ目を向けると手水鉢など石造物がある。手水舎は、神社で参拝者が手を洗い、口をすすぐための手水鉢をおく、おみずやです。また、石造物には年代や寄進者の氏名が刻されているもので、神社の歴史がうかがえる。狛犬は、高麗犬の意で、神社の社頭や社殿の前に据えおかれた、一對の獅子の姿に似た獣の像で、魔よけのためといわれている。

沖繩を旅して目につくのが獅子である。住宅の屋根の上に多く鎮座している。には、魔除けの一種で素朴な焼物の唐獅子像が、かつての戦火を免れた建物は二百年以上を経たもので、古い建物の屋根瓦の上に魔除けとして獅子が鎮座している。沖繩の獅子は、伝統工芸の陶器で、約五百年前にシヤムから伝えられたという。住宅、神社、寺の屋根の上に多く鎮座している。



大浜宮神社の狛犬

10月の行事予定	
2日	大正琴発表会 (中公)
2日	愛媛スボレク祭'94 地方大会 (三瓶中)
4日	郡中学新人総合体育大会 (保内中)
9日	町民運動会 (伊方中)
10日	町民運動会 (町見中)
13日	町小中陸上競技大会 (伊方中)
17日	地方祭
20日	郡小中陸上競技大会 (瀬戸中)
29日	町同和教育研究大会 (中公)
30日	南予中学新人総合体育大会 下旬 子供議会 (中公)

第37回 伊方町小中陸上競技大会	
とき	平成6年10月13日(木)
	開会式 8:45~
	競技開始 9:30~
ところ	伊方中学校グラウンド
平成6年度 伊方町同和教育研究大会	
とき	平成6年10月29日(土)
	9:30~
ところ	中央公民館4階大ホール

第40回 伊方町民運動会 《伊方会場》	
とき	平成6年10月9日(日)
	8:30~
	雨天の場合 10日(月)
ところ	伊方中学校グラウンド
第28回 伊方町民運動会 《町見会場》	
とき	平成6年10月10日(月)
	8:30~
ところ	町見中学校グラウンド

案内

'94.10月

くらしのカレンダー

11		月				
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	③	4	5
⑥	7	8	9	10	11	12
⑬	14	15	16	17	18	19
⑳	21	22	㉓	24	25	26
㉗	28	29	30			

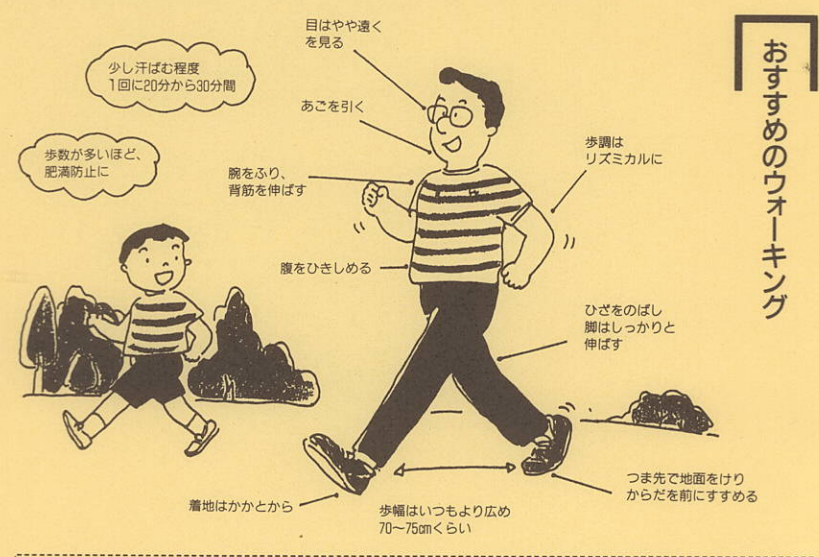
■……保 健 ★……衛 生 ○……そ の 他

月日(曜)	行 事	月日(曜)	行 事
10月 1(土)		17(月)	秋祭り
2(日)	■日曜日健診 (保健センター) { 胃・大腸ガン検診 7:30~9:00 基本検診 9:00~10:00 婦人ガン検診 9:30~11:00	18(火)	○人権相談(町民会館 10:00~15:00)
3(月)		19(水)	■健康相談(中浦集会所 9:30~11:00) ■健康相談(奥集会所 13:00~14:30) ○心配ごと相談(町見公民館 13:00~17:00)
4(火)	■栄養学級(町見公民館 9:30~13:00)	20(木)	■ポリオワクチン投与(九町診療所 13:30~14:00)
5(水)	○心配ごと相談(町民会館 13:00~17:00)	21(金)	■ポリオワクチン投与(保健センター 11:00~12:00) ■リハビリ教室(保健センター 13:00~15:00) ○給食サービス(二見公民館 13:00~) ★不用犬回収日(役場・町見支所で受付)
6(木)	■三種混合予防接種(九町診療所 13:30~14:00)	22(土)	
7(金)	■三種混合予防接種(保健センター 11:00~12:00) ■リハビリ教室(保健センター 13:00~15:00)	23(日)	■健康と福祉のつどい(町民会館 8:30~15:30)
8(土)		24(月)	
9(日)	○町民運動会(伊方地区)	25(火)	○税の徴収(向公民館 9:00~12:00)
10(月)	体育の日 ○町民運動会(町見地区)	26(水)	■乳児健診(保健センター 13:00~14:00) ○税の徴収(大成集会所 9:30~12:00) ○税の徴収(鳥津集会所 13:00~15:00)
11(火)		27(木)	■九町リハビリ教室(ワーク伊方 13:30~15:00) ○税の徴収(二見公民館 9:30~12:00) ○税の徴収(田之浦集会所 13:00~15:00)
12(水)	■健康相談(川永田コミュニティセンター 9:30~13:00)	28(金)	■なかよし広場(保健センター 9:30~13:00) ■健康相談(大成集会所 9:30~10:30/鳥津集会所 11:00~12:00) ○給食サービス(町民会館 13:00~) ○税の徴収(豊之浦集会所 9:30~15:00)
13(木)		29(土)	
14(金)	■リハビリ訪問(13:00~)	30(日)	
15(土)		31(月)	
16(日)		11月 1(火)	

じわじわやって来る「運動不足病」

歩くことからはじめよう!!

現代人は意識してからだを動かしていないと運動不足病になるのは必至とか。
 そでおすすめしたいのがウォーキング!
 数ある運動の中でも歩くことは、もっともとりかかりやすく、安全な運動です。毎日1万歩以上歩いている人ほど、血圧は良好で、動脈硬化を予防する善玉(HDL)コレステロール値が高いという報告もあります。また、30分歩くと歩数が3000~3500歩、消費エネルギーは約120キロカロリー、肥満防止にも役立ちます。
 さあ、あなたも1日1万歩目指して、
 Let's ウォーキング!!



おすすめのウォーキング

10月10日から16日までの1週間は『40歳からの健康週間』です。健康の自己管理につとめましょう。